

高知県少子化対策推進県民会議の体制の見直しについて

1 概要

- 「子どもを生き育てやすい環境づくり」に向け、県民運動として少子化対策を推進するため、平成20年2月に高知県少子化対策推進県民会議（以下、「県民会議」という。）を設立。

※県民会議設立趣意書より

私たちは、高知県少子化対策推進県民会議を設立し、「子どもを生き育てやすい環境づくり」に向け、自ら取組を行うとともに、互いに連携し、県民運動として社会全体に広がるよう取り組みます。

※保健福祉や医療、教育、経済など33団体で構成（事務局：県）

- これまで、イベントの開催や各団体の取り組みの横展開などを通じて県民運動を推進。
- これまでの取り組みを県民運動としてさらに強化する観点から、下記のとおり県民会議のあり方を見直す。

2 見直し内容

- ① 「出会い・結婚支援」に関する取り組みについては、出会い・結婚支援のイベント等を企画・実施してきた「若い世代部会」を、新たに設置予定の「若者応援産学官フォーラム（仮称）」の分科会「出会い促進分科会」として位置づけて役割を移行。
- ② 「子育てやWLB支援」に関する取り組みについては、「共働き・子育て」の取組に注力する観点から「共働き・子育て推進会議（仮称）」に移行

⇒①②に伴い、県民会議は発展的解消

3 今後のスケジュール

| | |
|-------|---|
| R7.7 | R7年度第1回県民会議総会（書面） 【議題】県民会議の体制の見直しについて ⇒県民会議の発展的解消 |
| R7.9頃 | 若者応援産学官フォーラム（親会）開催予定 共働き・子育て推進会議（仮称）開催予定 |

発展的解消

高知県少子化対策推進県民会議（総会）

＜分野構成＞
保健福祉、医療、教育、幼稚保育、青年、男女共同、NPO、経済、労働、一次産業、地域、報道、地方自治体、オブザーバー ※35団体

主な取組：
少子化対策の県民運動としての気運醸成や意識啓発

- 結婚・子育て支援部会
- ワークライフバランス推進部会
- 若い世代部会

県民運動の役割①
出会い・結婚支援

県民運動の役割②
子育て・WLB支援



若者応援産学官フォーラム（仮称）

＜分野構成＞
産学官（団体の代表者等）それぞれ3～5人程度

【協議テーマ】
①産業人材の育成と県内就職の促進
②若者に魅力ある仕事の創出
③若者と地域の交流促進 など

- 分科会
- 医療人材分科会
 - 福祉人材分科会
 - 企業人材分科会
 - 出会い促進分科会**

共働き・共育て推進会議（仮称）

＜分野構成＞
経済、労働、医療、経営、一次産業、地方自治体、雇用、青年、福祉
※共同宣言団体 29団体(県含む)

主な取組：
・男性育休の取得状況のフォローアップ
・仕事と家庭の両立支援を通じた県内企業の魅力向上

・出会い・結婚支援のイベント等を企画・実施してきた「若い世代部会」を「若者応援産学官フォーラム（仮称）」の「**出会い促進分科会**」として位置づけて役割を移行

・「共働き・共育て」の取組に注力する観点から「**共働き・共育て推進会議（仮称）**」に移行